

豊中市で初開催 「体感型防災アトラクション」



防災知識クイズ



豊 中市立野田小学校に貼り出されたパニック映画のような「防災訓練」の告知ポスター。災害現場を再現し、ゲーム感覚で楽しみながら防災を学べる参加型の「体感型防災アトラクション」のポスターだ。野田校区では毎年「野田校区自治協議会」の主催により、防災設備が整った野田中央公園で防災訓練が行われていた。しかし、200人以上の参加者が集まるも大半が高齢者。地域コミュニティ活性化が目的でもある防災訓練に、若い世代も参加して欲しいというのが自治協議会の願いだった。

そこで、役員の一人在験して面白かったという「株式会社フラップゼロα」による 防災アトラクションの実施を依頼した。開催日は大雨だったにも関わらず、親子連れや友達同士、孫を連れのお爺さん、

他の学区からの見学者など続々と会場に現れ、計400名の参加者となった。

アトラクション前に防災知識のクイズが行われたが「参加者があまりに知識がなさすぎてスタッフの方が驚いてました」と会長は苦笑した。そしてついにアトラクションへ。「巨大地震発生、災害現場から脱出するまでに残り時間わずか」という設定でスタートする。巨大スクリーンでの臨場感あふれる映像演出。会場に響くカウントダウンに焦らされながら、4つのミッションをグループで協力しあってクリアしていく。その際に災害時に必要なアイテムの知識が付き、現場からの脱出・安全確保を目指す事で、自助、共助の大切さを体感する。「他人同士でグループを組み、それぞれにリーダーを決めているのですが、おとなしそうな人が急にリーダーシッ

プをとったり、大人より子どもの方が柔軟だったり、皆さんの意外な一面も見れて良いコミュニケーションが取れてるようでした。

最後に「ふり返しシート」で復習するのだが、災害を体感したことで本当に必要な物が頭に入っていたらしい。「知識を得ただけじゃなく、意識が変わりました。市や誰かがやってくれる、ではなく自分でやらなければ」と役員たちは決意する。さっそく運営委員で町の防災を見直し、避難場所を誰が見てもわかるように誘導する「防災マップ」の掲示板を各ポイントに立てることが決まった。防災意識の向上と地域コミュニティ活性にもつながった。

8月末に西宮市主催で西宮市役所にて「大雨洪水」をテーマにしたアトラクションが開催される。西宮市での開催は今回

で3回目となる。「株式会社フラップゼロα」の統括プロデューサー松田さんによると「西宮市は風水害が続いていたので何度も要望を受けております。2016年に3つの台風が上陸した北海道からの要望もありました。『大雨洪水』には『巨大地震』とはまた違う知識が必要なので、たくさんの方に知っていただきたいです」と話す。

池田から新しいクラシック音楽を 「『クレモナ』・モダンタンゴ・ラボラトリ」の挑戦

池 田を拠点に新しいクラシック音楽に取り組む女性ユニット「『クレモナ』・モダンタンゴ・ラボラトリ」。国内唯一のプロの「モダン・タンゴ」専門の木管室内楽団だ。4年前、池田市のグルメ音楽イベント「いけおん」出場をきっかけに、当時大学生だった久保田ひかりさんを中心に女性4人で結成。現在「モダン・タンゴ」の魅力を広めるため、年2回の定期演奏会をメインに、様々な音楽イベントや学校など年間200ステージの演奏をこなしている。

「オンボロ自転車操業だが、自分たちの演奏で次の活動資金を作っています」と久保田さん。プロとして自立が難しい音楽業界で、「新しい音楽によるビジネスモデルを創造していきたい」という思いから大手クラウドファンディングサイトを使わない『勝手に』クラウドファンディングにも挑戦。8月18日発売の2ndアルバム『Libertango』は「ピアソラ(アルゼンチン出身の作曲家)のコピーではなく、クレモナとしてピアソラの曲を聴かせたい。アレンジや演奏方法などを見直し、



全員が20代の「クレモナ」。ダンスのイメージが強いタンゴを、新時代の現代クラシックの音楽ジャンル「モダン・タンゴ」として追求。

次の時代に進める音楽を届けたい」。9月7日には服部緑地野外音楽堂にて初の野外で5時間の公演を開催。老若男女問わず、わいわいがやがや楽しめる敷居の低いクラシックライブを成功させたい、と10万枚のチラシを自分たちでポスティングするなど地道な活動も行っている。

クレモナは21世紀のクラシック音楽を新しく作り変えるという大きな夢を持つ姿に応援者も増え、音楽業界から注目を集めつつある。来年は過去に実績がある国際コンクールへの出場を目指している。

上方演芸を楽しみながら学べる 大阪府立上方演芸資料館がリニューアル

2 019年4月24日、お笑いの聖地・難波にある大阪府立上方演芸資料館(ワッハ上方)がリニューアルした。

新たなコンテンツとして、着物を羽織って写真を撮れるコーナーや、人気の芸人と一緒に写真撮影ができるフオトスポットをつくるなど、若年層も意識した内容に。

資料館の担当者は「上方のお笑いにもっと親しみを持ってもらい、外国人観光客にも大阪の文化を発信できる場所になりたい」と話す。



いじめを見たら、市長にはがきで通報 吹田市が「いじめ等通報はがき」を配付

吹 田市では、子どもたちがいじめ被害を市長に通報できるはがきを2学期から全小・中学生に配付する。はがき配付は市立小中学校54校に在籍する児童や生徒全員(約3万人)が対象で、予定では市人権平和室宛で切手なしで投函でき、後藤圭二市長が直接目を通すという。はがき

は子どもたちが書きやすいように、学年に応じた内容にするという。また、はがき以外にも、市教委にいじめ対応専任相談員、校長OBなどが務めるいじめ対応支援員などが配置される予定。いじめを見かけても校内では伝えにくい場合に、直接、市長に伝わることで迅速な対応が期待される。

みんなで防ごう 特殊詐欺 ～大阪府安全なまちづくり条例が改正～ 協力：大阪府警察



大阪府内では、特殊詐欺被害が危機的状況にある。平成30年中は、特殊詐欺の認知件数が1,622件、被害金額が約35億8,000万円となり、大阪府内で1日約1,000万円被害に遭っていることとなる。

そこで、今回、特殊詐欺の発生に歯止めをかけるべく大阪府安全なまちづくり条例に特殊詐欺被害防止対策が盛り込まれ、令和元年6月1日施行されることとなった。

改正内容としては、自治体・府民・事業者等が連携し、広報啓発活動や警察への通報等特殊詐欺の被害防止に取り組むことが努力義務として規定され、オール大阪で特殊詐欺を防ごうというもの。

一人ひとりが特殊詐欺に関心を持ち、「特殊詐欺では?」と気付いた人は、積極的な声掛けや警察に対する通報を行おう。詳しくは大阪府警のホームページで確認を。

大阪府下の特殊詐欺認知件数と被害金額(確定値)

認知件数	R1 (1-7月)	H30 (1-7月)	増減		
			件数	増減率	
特殊詐欺全件	1,021	830	191	23%	
特殊詐欺【詐欺恐喝】	820	757	63	8%	
	818	748	70	9%	
	オレオレ	324	439	-115	-26%
	架空請求	368	255	113	44%
	融資保証金	17	19	-2	-11%
	還付金等	109	35	74	211%
	その他の手口	2	9	-7	-78%
	金融商品等	0	1	-1	-100%
	異性紹介	0	5	-5	-100%
	ギャンブル情報	2	3	-1	-33%
その他	0	0	0	-	
特殊詐欺【窃盗】	201	73	128	175%	

※特殊詐欺【窃盗】は、被害者の隙を見てキャッシュカード等を窃取する窃盗をいう。